

「特別の教科 道徳」Q&A

「道徳」の評価はどうか？

Q 道徳が「特別の教科」になり、入試で「礼儀」や「思いやり」などが評価されるというのは本当ですか？道徳が評価されると、子どもが本音が言えなくなりますか？

A **道徳科の評価で、特定の考え方を押し付けたり、入試で使用したりはしません。**

「特別の教科 道徳」では、道徳的な価値を自分のこととしてとらえ、よく考え、議論する道徳へと転換し、特定の考え方に無批判に従うような子どもではなく、主体的に考え未来を切り拓く子どもを育てます。

- 教科書を使用し、9年間を通じて適切な学習が行えるようにします。
 - ・例えば、小学校低学年では、人の気持ちを考えさせ、「してはならないことがあるよ」などの基本を指導します。
 - ・その上で、道徳的な価値を自分のこととして考えるための、「考え、議論する道徳」へと転換します。
- 道徳科の学習状況や成長の様子を評価し指導の改善に生かしますが、入試には使いません。
 - ・「特別の教科 道徳」では、数値で評価して他の子どもたちと比較することはしません。
 - ・「礼儀」や「思いやり」などの個別の内容項目の評価はしないので、「礼儀正しいか、正しくないか」、「思いやりがあるか、ないか」などの観点から評価することはありません。
 - ・授業で自分のこととして考えている、他人の考えなどをしっかり受け止めているといった成長の様子を丁寧に見取り、「励まし、伸ばす」積極的評価を行います。

【リーフレットや道徳教育に関わるお問合せ】
日高管内教育委員会連絡協議会
事務局 日高教育局教育支援課義務教育指導班
TEL：0146-22-9493

道徳科の授業で、 子どもたち一人一人の 豊かな心を育みます。

これまでの道徳の授業（道徳の時間）は…

- 読み物の登場人物の気持ちを読み取ることが中心の指導
- 子どもたちに望ましいと思われることや分かりきったことを書かせたり、発表させたりすることが中心の授業などの課題が見られました。

学習指導要領の一部改正により、「道徳の時間」が「特別の教科 道徳」（道徳科）として新たに位置付けられます。

【具体的なポイント】

- 教科書が導入され、全ての学校が確実に道徳の授業を実施します。
- いじめの問題への対応の充実などを図るため、小・中学校9年間ですべて体系的に学習します。
- 問題解決的な学習や体験的な学習を適切に取り入れ、指導方法を工夫します。
- 数値の評価ではなく、子どもたちのよさや成長の様子を見取ります。

**「考え、議論する」道徳の授業を実現し、
子どもたちの道徳性を育みます。**

小学校は平成30年度、中学校は平成31年度から、道徳科が全面実施されます。（現在は、各学校において、指導計画の見直しや授業改善の取組が行われています。）

全ての小・中学校で

「特別の教科 道徳」が、

始まります。



自分の考えをもち、「考え、議論する」道徳科の授業を実現し、子どもたち一人一人の豊かな心を育みます。

日高管内教育委員会連絡協議会
日高管内道徳教育研究会